

令和元年(2019年)12月17日(火曜日)

# ヒマラヤ桜が満開

三島市 梅花藻の里 竹垣も整備、装い新たに



満開となっているヒマラヤ桜＝三島市の三島梅花藻の里

絶滅危惧種ミシマバイカモの群生地「三島梅花藻の里」(三島市)で、ヒマラヤ桜が満開になっている。年内は見頃が続く見通し。

ヒマラヤ桜は1967年に熱海市を訪れたネパールのビレンドラ皇太子(当時)が、献上を受けた梅の種のお礼に桜の種を贈ったのがきっかけ。梅花藻の里には、約50年前に熱海高の枝が桜の木に接ぎ木された。管理するNPO法人グラウンドワー

ク三島によると昨年はほとんど花を付けなかったが、今年は間引きや消毒を行うなどして美しいピンク色の花がよみがえったという。

梅花藻の里ではこのほど、都留文科大(山梨県)の学生12人が竹垣の張り替え作業を行った。松毛川(三島市)近くの放置竹林で刈り取った約200本を使って30日に整備され、装いも新たに年末年始に訪れる観光客を迎えている。